

# 今後のシンクタンク機能育成事業の方針

令和6年3月28日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

# 令和6年度「安全・安心シンクタンク」関係予算

## 安全・安心に関するシンクタンク機能の構築（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）

6年度予算（案） **3.5億円**  
（5年度予算額 1.7億円）

### 事業の目的・概要

- ◆ 安全・安心に関するシンクタンクについては、第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）等の政府文書に基づき、内閣府において設立準備を推進
- ◆ 令和5年度以降、高度な調査・分析人材の育成やネットワーク化、先行的な調査研究といった、シンクタンクのコア機能として必要な取組等を委託事業を活用して実施
- ◆ 令和6年度においては、引き続きシンクタンクの本格的な設立準備を進めるとともに、令和3～4年度に実施した試行事業の成果も活用しながら、令和5年度に実施した調査研究について、手法の高度化や対象テーマ拡張等を実施

### （参考）政府の基本計画等との関係

#### 【第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）】

- ◆ 国民生活、社会経済に対する脅威の動向の監視・観測・予測・分析、国内外の研究開発動向把握や人文・社会科学の知見も踏まえた課題分析を行う取組を充実するため、安全・安心に関する新たなシンクタンク機能の体制を構築し、今後の安全・安心に係る科学技術戦略や重点的に開発すべき重要技術等の政策提言を行う。そのため、2021年度より新たなシンクタンク機能を立ち上げ、2023年度を目途に組織を設立し、政策提言を実施する。

#### 【経済財政運営と改革の基本方針2023（令和5年6月16日閣議決定）】

- ◆ 先端的な重要技術の育成に向け、新たに支援対象とするべき技術を示し、官民の伴走支援の下で着実に研究開発を行いつつ、切れ目なく協力的な支援を実現する。安全・安心に関するシンクタンクにおいて経済安全保障推進法に基づく調査研究を着実に実施すべく、本格的な設立準備を進め、政府における調査研究を充実させる。

### 期待される効果

- ◆ 安全・安心に関するシンクタンクの設立準備が進められることによって、我が国における安全・安心の実現のための重要な諸課題への対応及び総合的な安全保障の基盤となる科学技術力の強化に資する政策提言がなされ、我が国における様々な脅威に対する総合的な安全保障が実現

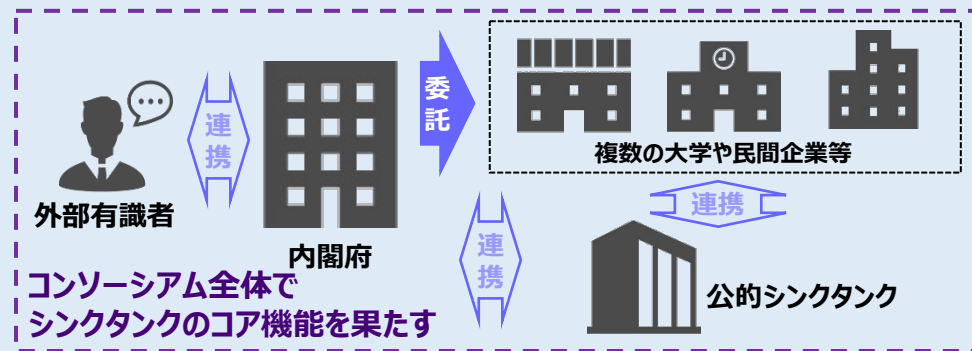
### 事業イメージ・具体例

#### ① 調査研究の継続及びシンクタンクを担う人材養成

- 令和3年度以降の委託事業を通じて培った知識やノウハウ等を新たなシンクタンクに承継させるとともに、手法の高度化や国内外の専門家ネットワークの維持強化を図るため、対象テーマ（※）を拡張しつつ調査研究を継続実施  
※令和5年度はサイバーセキュリティと食料安全保障の2テーマ
- 調査研究を実施する中で、OJTにより即戦力となるシンクタンク人材を養成
- 海外シンクタンクとの人材交流事業等を通じて、将来的にシンクタンクを支える人材の育成を行うとともに、海外シンクタンクとのネットワークの強化を図る

#### ② シンクタンク立上げに向けた設立準備検討

- G7諸国を含む国内外の調査研究機関等について分析を更に進めるとともに、外部有識者等の意見を聴取した上で、シンクタンク機能を果たす上で最適な組織の在り方や求められる機能・役割等の具体化に向けて検討
- シンクタンク機能育成事業を推進するためのコンソーシアムを形成することにより、調査研究を充実させつつ、公的シンクタンクや関係企業等との連携体制の強化を図る



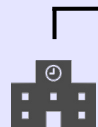
# 令和6年度委託事業案（全体図）

## ① 調査研究



### (1) プロジェクト・マネジメント

- ✓ 中核機関を中心としたコンソーシアムを構築・運営し、①全体のPM機能を果たす
- ✓ 役務調達等も活用しながら、調査・分析を推進
- ✓ 大学を参画させ、人材養成も実施



### (2) 国内外の需要動向調査

- ✓ 主にオープンソースに基づき、国内の政策ニーズを整理
- ✓ 国外の脅威情勢や政策動向も調査することにより、潜在的な政策ニーズを調査



### (3) 国内外の技術動向調査

- ✓ 主にオープンソースに基づき、技術シーズの情報収集・整理し、重要技術ロングリストを作成
- ✓ 成熟度、サプライチェーン、市場規模、国際競争力等に係る情報を収集し、技術を評価
- ✓ 複数機関に業務を分担した上で実施予定



### (4) 国際情勢分析

- ✓ グローバル・スタディによる我が国の立ち位置分析
- ✓ トレンドや不確実性等を抽出・整理した上で、技術の視点も踏まえつつ、複数のシナリオを作成
- ✓ 将来的なリスクや機会を特定・整理
- ✓ 複数機関に業務を分担した上で実施予定
- ✓ 「調査・分析手法開発教育ワークショップ（仮称）」を開催することにより、若手人材を養成



### (5) 統合需給・シナリオ分析

- ✓ 総合的・俯瞰的な分析を可能とするデータセットを構築
- ✓ 技術の重要度や我が国の「強み/弱み」、リスク管理、経済的繁栄・産業インパクトの視点も含めたシナリオ分析
- ✓ 重要技術ショートリスト作成し、政府に「刺さる」政策オプションを提示
- ✓ 複数機関に業務を分担した上で実施予定

## ② 設立準備支援



### (2) 海外人材交流プログラム

- ✓ 主要な海外シンクタンクに我が国の若手人材を短期派遣し、調査・分析手法のトレーニングを実施
- ✓ 事前・事後にオンラインを活用して指導



### (3) シンクタンクの在り方提言

- ✓ 海外シンクタンクと協働しつつ、我が国の状況や環境を踏まえた上で、シンクタンクの果たすべき機能・役割や最適な組織形態について具体化して提言

### (1) 設立準備作業・ネットワーク運営

- ✓ G7各国の主要シンクタンク等の基盤調査の深堀り
- ✓ 設立準備に必要な事務作業
- ✓ 関係機関との調査研究ネットワーク構築のサポート